

## 白山禪定道の石仏

滝本 やすし

### はじめに

白山には、越前、加賀、美濃の三つの禪定道があった。山頂付近や禪定道周辺には数千体の石仏が奉納されていた。その多くは一向一揆によって壊され、さらに明治の廃仏毀釈でほとんどが失われた。また残されていた石仏も昭和戦後に次々と盗難にあった。白山禪定道周辺には現在、石仏は僅かしか残っていない。白山麓に現存している石仏は、個人宅で隠し持って守られてきたものや、土中に埋められたものが後に出土したものなどである。

越前馬場であった白山中宮平泉寺は廃仏毀釈の際に廃寺になり、平泉寺白山神社となった。明治五年、白山頂上や越前禪定道は白山比咩神社(加賀馬場であった白山本宮)の管轄となった。そして明治七年、山頂付近や越前禪定道周辺にあった仏像(木造仏、金銅仏、石仏)は本来の越前ではなく加賀のほうへ下ろされた。金銅仏や木造仏は麓の寺院等へ移され、石仏は主に個人宅で守られてきた。

### 石川県白山市白峰林西寺白山本地仏堂の金銅仏と木造仏

白峰の真宗大谷派林西寺境内に白山本地仏堂が建てられており、明治七年に白山から下された八体の金銅仏や木造仏が納められている。

- ・銅造十一面観音座像：御前峰に安置されていた。白山妙理権現。文政七年銘。
- ・銅造阿彌陀如来座像：大汝峰に安置されていた。大汝権現。
- ・銅造聖観音座像：別山に安置されていた。大行事権現。
- ・銅造地藏菩薩座像：加賀禪定道の六道堂に安置されていた。
- ・銅造十一面観音立像：越前禪定道慶松平の慶松室に安置されていた。

- ・木造薬師如来座像：越前禪定道一ノ瀬の白山温泉薬師堂に安置されていた。
- ・木造如来像(上半身のみ)：越前禪定道の檜宿に安置されていた。
- ・木造泰澄大師座像：越前禪定道の室堂に安置されていた。

また林西寺には白山本地仏堂に納められていない銅像がこの他にもう一体あり、蔵に保管されている。

- ・銅造兩童子立像：越前禪定道の高天原に安置されていた。

### 石川県白山市白峰市ノ瀬神社の木造仏

昭和十四年に建立された市ノ瀬神社に、近隣の仏堂から移された二体の木造仏が納められている。越前禪定道の一ノ瀬(現在の市ノ瀬)周辺には他にも仏堂や小祠がいくつかあったが、これら以外の諸像は現存していないようである。

- ・木造薬師如来座像：下一ノ瀬今宿薬師堂に安置されていた。
- ・木造聖観音座像：上一ノ瀬観音堂に安置されていた。

### 石川県白山市尾添白山社の金銅仏と木造仏

尾添の白山社に、明治七年に白山から下された十三体の金銅仏や木造仏が納められている。これらは全て加賀禪定道沿いの檜新宮に安置されていたものである。

- ・銅造聖観音座像
- ・銅造地藏菩薩立像
- ・銅打出不動明王立像
- ・銅打出金剛童子立像
- ・木造阿彌陀如来立像
- ・木造十一面観音座像
- ・木造地藏菩薩立像七体

## 石川県白山市白峰地区に残されている白山禪定道周辺の石仏

### ①市ノ瀬永井家の阿弥陀三尊立像

駒型の石仏で、下部が欠損している。前面右に「右七十□体之さく人多ちせん乃く：」、左に「法興寺」、下部に「寛永：」「坂にて：」「たて：」「七：」の文字が読み取れる。福井県福井市の法興寺が越前禪定道に奉納した七十一体の石仏の一体である。

### ②市ノ瀬永井家の如意輪観音座像

上部が欠損しているが、光背型の石仏と思われる。前面右に「金剛堂七十一体之内法興寺」、左に「寛永十四丁丑六月吉祥日」、下部に「越州足羽郡福居□」の文字が刻まれている。法興寺が越前禪定道に奉納した七十一体の石仏の一体である。

### ③市ノ瀬永井家の地藏菩薩立像

光背型の石仏で、前面右側に「七十一体之内法興寺」、左に「寛永十四丁丑六月良娘」、下部に「越州足羽郡福居□」の文字が刻まれている。法興寺が越前禪定道に奉納した七十一体の石仏の一体である。

### ④市ノ瀬永井家の薬師三尊立像

光背型の石仏で、前面右に「七十一体之□法興寺」「奉寄進金剛堂本■」、左に「寛永十四丁丑六月吉□」、下部に「越州足羽郡福居庄」の文字が刻まれている。法興寺が越前禪定道に奉納した七十一体の石仏の一体である。

### ⑤市ノ瀬永井家の阿弥陀如来立像

光背型の石仏で、前面右に「七田□体之内法興寺」「別山御来迎■金剛堂」、左に「寛永十四丁丑六月吉日」「日桿春岸大居士」、下部に「越州足羽郡福居□」の文字が刻まれている。法興寺が越前禪定道に奉納した七十一体の石仏の一体である。

### ⑥八坂神社の僧形立像

八坂神社境内の地藏堂内に納められている。駒型あるいは光背型の石仏の右下部分であろう。前面右に「■道大和尚」、下部に「越州足：」の文字が

刻まれている。法興寺が越前禪定道に奉納した七十一体の石仏の一体である。この僧形像は横を向いて合掌していることから、中尊(⑦阿弥陀如来であろうか)の方を向いていると考えられ、右脇侍のようである。「■道大和尚」と刻まれているのは、法興寺の開山和尚であろうか。

### ⑦八坂神社の阿弥陀如来立像

八坂神社境内の地藏堂内に納められている。像の周りが全て削り落とされており、銘文は確認できない。駒型あるいは光背型の石仏の中央部分であろうか。法興寺が越前禪定道に奉納した七十一体の石仏の一体と思われる。この阿弥陀如来は、同じ堂内に置かれている⑥僧形像の中尊であろうか。

### ⑧鶴野家の阿弥陀六地藏

駒型の石仏で、上部に阿弥陀如来座像、その下に六地藏立像が三体ずつ二段に彫られている。前面右に「道橋」「永禄五年」、左に「四月十五日」の文字が刻まれている。長期間鶴野家の墓地に置かれていたが、現在は仏間に安置されている。

### ⑨剃刀窟の菩薩形立像

駒型あるいは光背型の石仏の右下部分であろう。前面右に「：眼■善■法」、下部に「越州：」の文字が刻まれている。蓮座上に立ち合掌しているが、頭部が欠損しており尊名を特定できない。法興寺が越前禪定道に奉納した七十一体の石仏の一体である。

### ⑩剃刀窟の泰澄大師座像

駒型あるいは光背型の僧形石仏の右下部分であろう。前面右に「施主久七」、下部に「越前國足：」の文字が刻まれている。三鈷杵と数珠を持っているので、泰澄大師であろう。法興寺が越前禪定道に奉納した七十一体の石仏の一体と思われる。剃刀窟には現在も石仏の残欠がいくつか残されている。

### ⑪大道谷堂の森の菩薩形座像

駒型あるいは光背型の石仏の中央下部であろう。右に「：大■」、左に「六」、下部に「：足羽郡福：」の文字が刻まれている。法興寺が越前禪定

道に奉納した七十一体の石仏の一体である。笛を吹いており、阿弥陀来迎二十五菩薩の一体である白象王菩薩ではないかと思われる。一石に数体が彫られてと考えられることから、もとは数体ずつ数基に分けて二十五菩薩が彫られていたのであろうか。

#### ⑫大道谷万次の山の菩薩形立像

駒型あるいは光背型の石仏の一部であろう。前面右に「… 山田■■■■」、左に「日桿春…」の文字が刻まれている。法興寺が越前禅定道に奉納した七十一体の石仏の一体である。蓮台を両手で持つ観音である。阿弥陀三尊の脇侍かと思っただが、よく見ると頭上にも蓮座が彫られている。阿弥陀三尊であれば、観音の上に別の像が彫られることは考えづらい。一石に数体の像が彫られていたと考えられ、この観音も二十五菩薩の一体であろうか。

#### ⑬新保峠の菩薩形立像

不鮮明な写真を拝見しただけで、実見していない。合掌する立像である。駒型あるいは光背型の石仏の一部と思われる、法興寺が越前禅定道に奉納した七十一体の石仏の一体と考えられる。

#### ⑭山岸家の如来形座像

光背型の石仏で、銘文は刻まれていない。印相が不鮮明であるが、阿弥陀如来であろうか。白山から下された石仏であるが、旧所在地は不明である。

#### ⑮小原峠の不動明王立像

不鮮明な写真を拝見しただけで、実見していない。光背型の石仏で、平成十年に建てられた木造の小堂に納められている。

#### ⑯小原山池の窪の聖観音座像

丸彫りの菩薩形石仏で、銘文は刻まれていない。蓮華を持っており、聖観音と考えられる。

#### ⑰アンノ堂の泰澄大師座像

丸彫りの僧形石仏で、銘文は刻まれていない。三鈷杵と数珠を持っているので、泰澄大師であろう。

#### ⑱赤岩虫尾社の聖観音座像

不鮮明な写真を拝見しただけで、実見していない。光背型の聖観音座像で白山から下された石仏であるが、旧所在地は不明である。

#### ⑲林西寺白山本地仏堂の石仏

林西寺白山本地仏堂の片隅に、三体の石仏と二体の木造仏が納められている。向って左から、光背型の不明像、木造阿弥陀如来立像、丸彫り地藏坐像、光背型菩薩形座像、木造菩薩形立像である。これらは白山から下されたと伝えられるが、旧所在地は不明である。

#### おわりに

白山市の白峰地区に残されている白山禅定道周辺の石仏を紹介した。白峰では地藏を神様と称しており、仏様とは阿弥陀や観音のことであるという。今回紹介した石仏の他に、白峰の山中には越前様式の丸彫り合掌地藏座像が多数点在している。調査にあたっては、白山ろく民俗資料館、林西寺、尾添白山社、鶴野家にご協力いただいた。

白峰は、廃仏毀釈当時は全戸が真宗大谷派であった。そのためであろうか禅定道周辺から白峰地区に下された石仏のほとんどが浄土系のものである。小原峠やワサビ沢の不動明王などは麓に下されず、そのまま現地に残された。越前禅定道沿いには昭和戦後頃までは天台系とみられる石仏も残されていたが、盗難に遭い現存していない。

越前禅定道から下された石仏の中に、寛永十四年に法興寺が奉納した七十一体の石仏がいくつかみられる。剃刀窟の岩窟部分には、法興寺の僧名が細かく刻まれた石塔が現在も残されている。法興寺は浄土宗西山禅林派寺院で、建長年間に越前武生において創建され、永正二年に一乗谷へ移り、天正年間に北庄(現在の福井市照手二丁目)へ移り、現在は福井市足羽三丁目へ移っているが、詳細な記録は残されていない。



③市ノ瀬永井家の地藏菩薩立像



②市ノ瀬永井家の如意輪観音座像



①市ノ瀬永井家の阿弥陀三尊立像



⑥八坂神社の僧形立像



⑤市ノ瀬永井家の阿弥陀如来立像



④市ノ瀬永井家の薬師三尊立像



⑨剃刀岩の菩薩形立像



⑧鶴野家の阿弥陀六地藏



⑦八坂神社の阿弥陀如来立像



⑫大道谷万次の山の菩薩形立像



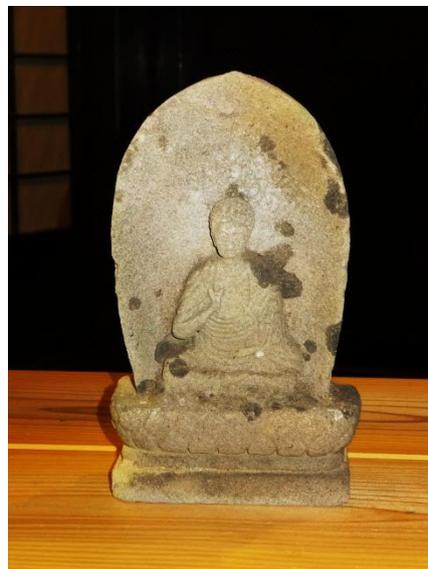
⑪大道谷堂の森の菩薩形座像



⑩剃刀岩の泰澄大師座像



⑮小原峠の不動明王立像



⑭山岸家の如来形座像



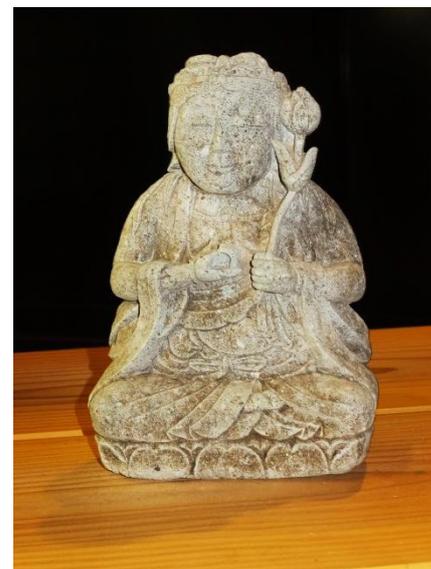
⑬新保峠の菩薩形立像



⑱赤岩虫尾社の聖観音座像



⑰アンノ堂の泰澄大師座像



⑯小原山池の窪聖観音座像



①林西寺白山本地仏堂の石仏3体と木造仏2体



林西寺の銅造雨宝童子立像  
背面に「勝山 安兵衛」の銘が入っている。



山岸家の白山曼荼羅(複製)